

総務産業委員会報告書

令和7年5月13日

備前市議会議長 西上 徳一 様

委員長 森本 洋子

令和7年5月13日に委員会を開催し、次のとおり調査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備考
1 文化観光についての調査研究 ① 観光船について ② 備前焼海外展開について	継続調査	—
2 公共交通についての調査研究 ① デマンド型乗合タクシーについて	継続調査	—
3 行政管理についての調査研究 ① 派遣職員について ② 特定任期付職員について ③ 職員住宅について ④ 市役所北側休憩所について	継続調査	—
4 移住・定住についての調査研究 ① お試し住宅について	継続調査	—
5 都市計画についての調査研究 ① JR西片上駅舎改修工事について	継続調査	—
6 道路、橋梁及び河川等についての調査研究 ① 道の駅について	継続調査	—

委員派遣について

- ① 備前市美術館への現地視察について
- ② 委員会行政視察（足利市・前橋市）について

<報告事項>

- 備前市美術館の内覧会について（備前市美術館総務担当課）
- 組織の再編について（企画財政課）
- 学びと遊びの健康プラザ工事中の建築資材盗難被害について（都市計画課）
- 変更契約に係る専決処分について（都市計画課）
- 変更契約に係る専決処分について（建設課）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
市長公室・企画財政部関係	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	3
文化観光についての調査研究	3
公共交通についての調査研究	7
行政管理についての調査研究	9
産業建設部関係	12
報告事項	12
移住・定住についての調査研究	15
都市計画についての調査研究	16
道路、橋梁及び河川等についての調査研究	17
委員派遣について	18
閉会	19

総務産業委員会記録

招集日時	令和7年5月13日（火）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時33分	開会　～	午前11時05分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	森本洋子	副委員長	丸山昭則
	委員	尾川直行		石原和人
		山本　成		松本　仁
		内田敏憲		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		議長		
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	市長公室長	河井健治	秘書広報課長	大森康晴
	日本遺産観光担当部長 兼観光・シティプロモーション課長	桑原淳司	備前焼振興課長	神田順平
	交通政策課長	出射詩都	備前市美術館総務担当課長	片岡英史
	備前市美術館学芸担当課長	林　順一		
	企画財政部長	榮　研二	企画財政課長	三宅貴夫
	総務部長	石原史章	総務課長	難波広光
	契約管財課長	西村昌英		
	産業建設部長	梶藤　勲	都市計画課長	井上哲夫
	建設課長	岡村　悟		
審査記録	次のとおり			

午前9時33分 開会

○森本委員長 改めまして、皆様おはようございます。ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

まずは、報告事項をお願いいたします。

***** 報告事項 *****

○片岡備前市美術館総務担当課長 備前市美術館から内覧会について御報告させていただきます。

現在備前市美術館につきましては、今月末の工期をもちまして完成の予定で順調に進んでいるところでございます。5月末の引渡しを受けてすぐになりますけれども、一般の市民の方、市外の方に美術館のお披露目をしたいと考えておりました、予定としましては6月7日土曜日の日にちを設定で内覧会をさせていただきたいと考えております。開館まで2か月を切っておりますので、あまり周知期間がありませんが、市の広報には6月広報でまず周知させていただくのと同時に、備前市美術館のホームページにも掲載させていただきまして、また各種メディアにも周知させていただきながら見学会をさせていただきたいと考えております。

○森本委員長 この件で質疑のある方。

○尾川委員 私以前から開館に伴って関係施設でイベントをやったらどうかと、鳥取県の美術館の開館もイベント、県と市とは違うかもしれないけど、もっとPRする意味も含めて、そんな考えはないのかと思って。ただ今ある美術館の開館だけで終わるのか、それとも何か記念のイベントみたいなことをやるのか聞きたい。

○片岡備前市美術館総務担当課長 おっしゃるとおり鳥取美術館のほうは開館前に完成してからいろんなイベント等で披露していたという経過は見させていただいておりますけれども、大変申し訳ない、ちょっとそれまでのこの内覧会の前後に引渡しを受けて展示ケースの搬入、また作品の搬入等でこの後スケジュールが非常にタイトに詰め込んでおりますので、この6月7日につきましてはお披露目だけということにさせていただきまして、また開館記念、7月12日に開館を予定しておりますので、その開館に伴ってイベント等は考えていきたいと考えております。

○尾川委員 インバウンドばかり狙っているのかどうか知らないけど、やっぱり市民が関心をどこまで持つかということが一番の肝腎要だと思うので、そのためには見てもらう、関心持ってもらうというためにどういうイベントやったらいいのかということを考えてもらいたいと思う。ただ開館して、特定の人に来て見てというんじゃなしに、入場料を払って見てくれるかどうかというのは疑問なところで、いろいろ言われるけど、そういうことを考えて市民のための美術館を建前としては考えていかないと、対外から訪れる少数の人だけ対象にしていくということは限界があると思うので、ぜひ具体的に検討してもらいたいと思う。

○片岡備前市美術館総務担当課長 市民の方ということで開館後にはそういった美術館での企画なりイベント等も実施していきたいと考えております。

○尾川委員 トップが替わったけど方針は変わらない、美術館の狙いは変わっていないのかを説明してもらいたい。

○林備前市美術館学芸担当課長 館長予定者も引き続きやっていただけるということで確認しておりますし、備前焼ほか備前の現代陶芸、地元の焼き物を見ていただくためにもよその地域からも来ていただく、備前焼以外の焼き物を中心とする展示をしていくという計画でおりますので、引き続き御理解いただきたいと思います。

○尾川委員 館長が替わったりするようなことはないかと、美術館そのものの目的が変更になっていないのかと、今後変わる可能性、取りあえずは当初の計画どおりで進んでおるんですかということ。館長なんかも替わらずに行くのかということを行っているわけ、具体的に言うと。

○林備前市美術館学芸担当課長 館長は、引き続き金子館長にやっていただくようお願いできております。それと展示の計画も変わらず推進、準備を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

○石原委員 さっき言われた内覧会は、また広報等で御案内されるでしょうけど、申込みはもう全くフリーでお邪魔したらいいのか。

○片岡備前市美術館総務担当課長 6月7日ということで、市の広報が5月下旬に発送されるかと思うんですけども、申込みをするにはあまり期限がありませんので、申込みフリーということとさせていただきますと考えております。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

説明員の方は退席していただいて結構です。

次の報告事項に移らせていただきます。

組織の再編について。

○三宅企画財政課長 企画財政課から組織の再編について御報告いたします。

新市長の就任に伴う市長部局及び教育長部局の組織の再編を今検討しているところです。次の6月議会において、備前市の組織及びその任務に関する条例の改正案を提出する準備を今進めているところがございますので、よろしく申し上げます。

○森本委員長 この件に関して質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

この件に関しては終了させていただきます。

説明員の方退席していただいて結構です。。

以上で報告事項を終わらせていただきます。

引き続き閉会中の継続調査事件に関する調査研究を行います。

***** 文化観光についての調査研究 *****

まず、文化観光についての調査研究を行います。

1点目の観光船については石原委員からの御提案なので、お願いします。

○石原委員 前回の定例会で当初予算の中の栈橋、休憩所整備に係る予算が減額されました。その影響も含めて完成に向けて進んでおるでしょうけれども、肝腎の運航計画についてはどういう状況なのか引き続きございまして、現時点でのお話をお聞かせいただければ。

○桑原観光・シティプロモーション課長 観光船につきましては、外装、内装の艀装工事を含め9月完成予定というところで現在進行しております。先ほど石原委員からもございました完成後の運航等につきましては、運航委託を視野に入れまして一部民間事業者様との協議を開始したところでございます。まだ具体的な協議には至っておりませんが、引き続き民間事業者との調整を含め協議をしてみたいと考えております。

○石原委員 9月完成を目指してということですが、運航計画は今調整検討中でしょうけれども、大体いつ頃までに具体的な形で我々市民へお示しただけ、どういうタイミングを目指して進んどんかなとは思いますが。

○桑原観光・シティプロモーション課長 大変恐縮ではあるんですが、現状でこの段階でというところはまだ申し上げにくいところではございますが、先ほども申し上げましたようにまずは管理をいただける運航いただけるどなたかをというところで、先般一部民間事業者様とお話をさせていただいたところです。それを踏まえ、内部でも再度協議をし、早い段階で運航管理をいただける部分、それからどういった運航航路にするのかといった部分は検討をしていきたいと思っておりますので、いつという部分については今申し上げにくいところではあります、順次進めてまいりたいと考えております。また、節目節目では委員会でも報告はさせていただければと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

○石原委員 もう一点、いつぞやの予算で、職員の方が船の操縦に係る免許を取得するための予算が可決されたのを記憶しているが、その動きはどうですか。

○桑原観光・シティプロモーション課長 現状私は、職員が船の運航をというところは考えておりません。

○松本委員 この前選挙結果に表れたように、栈橋の問題で前回議会で否決されたように、私再三このことを議会で取り上げてきましたけど、建造をもうやめる、そういうことを市長と新しい市長と打診というか、話したことがあるかどうか、教えてください。

○桑原観光・シティプロモーション課長 建造について市長の引継ぎ事項ということで、我々この船に限らず市長とお話をさせていただく機会がございました。船について市長から中止するといったようなことはございませんでした。

○松本委員 私は個人的な意見かも分かりませんが、いっそのこと違約金を払ってでも中止すればいいと。いろいろ理由はあるけど、要は動けば動くほど赤字を出すと、そういうことを非常に懸念している。実際今の定期船でも、それから観光船も日生では余るほど待機している。そういう現状の中で、運航することがいいことなのかどうか、建造をやめることも含めて検討すべき

だと個人的には思っております。建造中止について違約金払ってでもいいから、そういうことはどうお考えでしょうか。

○桑原観光・シティプロモーション課長 現状では、違約金を払って中止をするというところには至っておりません。

○松本委員 これから私、そういうことを話題にいろいろ議論していきたいと思います。

○尾川委員 運航について協議中という話があったけど、棧橋の計画は、どこと協議しているのかということと、その後運航についてある程度アウトラインが出とって、ただ棧橋の問題とか水深の問題とか、船が入るか入らないかという問題の検討がされてないということで修正案が出たと、中にはもうやめてしまえというのがあるかもしれないけど、その時点での指摘事項について担当者はどう考えているのかお聞きしたい。

○桑原観光・シティプロモーション課長 現状で申し上げますと、棧橋等についての計画は現状では行っておりません。まずは、運航をとるところで協議を進めているところでありますので、その後という話にはなるかもしれませんが、現状では棧橋の部分については検討を行っておりません。

○尾川委員 今後その検討というのは要するに活用ということからしたら当然話が出てくると思う。日生だけが棧橋で、日生だけで限定した活用は考えられないと思う。船を造るという前提で、どう活用していくかということについてどう考えとんかと。一応そういう提案があったわけ、そっちから。こっちが提案したものではないから。その提案について担当者も説明したりして会うと言っていたけど、もう少し具体化は進めてないということなのか。

○桑原観光・シティプロモーション課長 委員おっしゃるように、そこまでの検討には現状では至っておりません。今後活用、運航計画含めて調整をしまいたいというところでございます。

○尾川委員 運航計画は、どういう形でどういうスケジュールで示されるのか。

○桑原観光・シティプロモーション課長 実はそこが非常に難しい部分でございます、まずはその船の管理、運航する体制というものを整えたいというところで、まずはそこを整えるべきと思、現状動いているところでございますので、その後のことをどうというのは今の段階では申し上げにくいというところで御理解をいただきたいと思います。

○尾川委員 9月末完成で引渡しがあるとは思いますが、進水しても艀装して普通一般的にはあと追加工事があるから結構遅れる場合があると思うけど、そうしたらあんまり時間がないと思う。いつも計画がずさんというか、唐突に言うからあんまり検討する時間がないという面があったのか知らないけど。もう3か月、4か月なって全然検討、協議、どこかへ依頼する、指定管理に出すということも含めて市としての考え方どういうふうを活用していくかということを確認していないと、どうにもならないと思う。それを放っておいて、係留して置いとくのかな。

○桑原観光・シティプロモーション課長 私もこの建造船の担当になって、委員おっしゃるとこ

ろを考えてきたところでございます。やはり造ったはいいが、活用されないというのは一番駄目な形かなと思っております。

ただ、再三申し上げるようにはなるんですけども、そこまで具体的なところには至っていないので、我々もどういう形がいいのかということ踏まえて今調整をしているというところでございます。

○尾川委員 なかなか難しいけど、あなたが決めるわけじゃないけど、あなたが意見具申して検討していく、広く意見を聞くということになっているから、もう少し早めに示してもらいたいと思う。

○桑原観光・シティプロモーション課長 いつというところは申し訳ないですけど、今申し上げにくいところではありますが、検討してまいります。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、観光船については終了させていただきます。

続きまして、備前焼海外展開について。

○石原委員 資料も御提示ありがとうございます。既に今年度4月に約1週間ほどですか、イタリア、ミラノで展示がなされた記載ございますけれども、ミラノでの様子といいますか、どれぐらいの方が来られてどういった展示だったのかお聞かせいただければ。

○神田備前焼振興課長 ミラノでの展示につきましては、昨年度と異なりまして今年度につきましては福井県、北陸の震災復興支援の位置づけ、それから秋田県、この2県が主体となって昨年度で言うフォーリサローネ、テノハミラノという場所になりますけれども、そちらのほうで展示をされたらと、そこに昨年度足がけで先陣を切らせていただいた備前市と、それから大館市、その作品の一部を入り口のエントランスのところへ先駆けのパイオニアとしてというストーリーで展示をさせていただいたということでございます。ちょっと人数については今報告を待っている状況ですけども、かなりの盛況があったという話は聞いておりますが、私も備前市の職員として市の職員が渡航しているわけでもございませんので、ちょっとその辺の実情については報告を待たせていただいているという形になっているのが現状でございます。

○石原委員 これ以降7月から長期間ニューヨークでの展示販売、調整中のものもございましてけれども、2番目以降については一番下にありますけれども瀬戸内市さんとの共同事業にもなるのかな。先ほどの4月の分に瀬戸内市さんがどう関わっておられたのか、定かではございませんが、これ以降のものについては瀬戸内市と共同でということよろしいでしょうか。

○神田備前焼振興課長 委員御指摘のとおり、これ実行委員会形式で瀬戸内市と備前市と共同でしております。中身によっては瀬戸内市さんが参画されるものもありますし、それから瀬戸内市がもう参画されないということであれば備前市、実行委員会では諮るんですけども備前市単独でという出展等々ブランディングをさせていただくこともあろうかと思っております。

○石原委員 2番目以降には展示販売というワードが出てくるけれども、これまで作家の方に御協力いただいて御提供いただいた作品を展示したりという流れであったと思う。ここで販売となりますとどういう形で展示物、作品を集めてといたしますか、調達のところはどのような形で、販売のところも併せてお聞かせいただければ。

○神田備前焼振興課長 これまでの2年間につきましては、テストマーケティングとか海外のブランディングの強化を中心に行ってきたでございます。見本市等への参加を中心に、一部そういったところが御縁でギャラリストの招聘につながった実績がございますけれども、3年度目となる今年度以降、販売促進、俗に言いますプロモーションのほう重点的に傾注した事業を執り行っていきたいとは思っておりますが、関税等、それから海外につきましてはVATなんかもかかってまいりますので、その辺につきましても実行委員会のほうで協議しながら、どういう取組がいいのかというのを同時並行的に課題を抽出しながら進めてまいれたらと考えております。

○石原委員 2番目のニューヨークでの7月中旬からスタート予定のものについては現時点で展示販売のそういった様子をしっかりとしたもの確立されとんですか。

○神田備前焼振興課長 展示販売等のスキームについてはこれからでございますが、日本食のレストラン展示販売、先方があるお話ですので、例えば先方のレストランがこの頃にできるからぜひそのときに参画したいとか、そういう御意向等の調整等は同時並行的に進めてございます。

○石原委員 3番目の中東とありますけれども、具体的には中東のどことかというのはあつたりするのか。

○神田備前焼振興課長 中東とイメージいたしましても中東も広うございますので、一番好ましいのはそこにも書いてございますけれども富裕層の招聘ということで、一般的に富裕層ということになればなかなかそこで区別は難しいですけれども、一般的にはUAEであるとか、ドバイであるとか、そういったところがいいのかなと思っておりますが、ただ個別具体的な話につきましてはこれからのセレクトになろうかと思えます。

○森本委員長 この件、ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、文化観光についての調査研究を終わらせていただきます。

***** 公共交通についての調査研究 *****

続きまして、公共交通についての調査研究に入ります。

デマンド型乗合タクシーについて。

○石原委員 こちらも細やかな資料の御提示ありがとうございます。ここでは最初に配備されたワーゲンにつきましては資料にもございますが、各地区でこういう形で運行がなされておるといふこと、それから追加で購入された軽自動車、こちら予約電話番号全てが未定となっておりますけれども、この運転手の状況はいかがでしょうか。

○出射交通政策課長 昨年度導入した軽自動車につきましては、今現在申し訳ないことですが運

転員はまだ決まっておられません。昨年度末から問合せについては幾つかございましたが、2種免許または市町村有償旅客運送の受講者、講習の受講者であるというところで、資格取得というところの段階でまだお問合せいただいている方にも申込みいただけてる状況ではございません。

○石原委員 納車はなされておるでしょうけど、塗装についてはどこまで進んでましたか。

○出射交通政策課長 昨年度スケジュールの関係で1台のみ塗装が済んでおります。今年度残りの9台分につきまして塗装の予算は計上させていただいておりますが、塗装をどうするかについてはちょっと慎重に検討してから進めていきたいと思っております。

○石原委員 市長も替わられたことですし、しっかりと御検討もいただいて、現状を見ると、軽自動車の塗装をどうするかということも早めに結論づけをされないと、運行されるかどうか分からないものを運転手の確保に向けての動きも難しいでしょうから、車両自体どうしていくのかということもしっかりと御検討いただいて、なおかつ追加で今年度の当初で7人乗り10台分も可決されておりますので、そこらもしっかりと市民の方が利用しやすい形でお願いしたいと思えます。

それから、現状走っている10台も以前から委員会等でも度々取り上げられたり、予約のシステム構築についてはいかがでしたか、その進捗検討、こういった形を目指してというところがございましたら。

○出射交通政策課長 予約の方法につきましては、今年度国の補助金が新しい地方経済生活環境創生交付金のデジタル実装型TYPEVということで、昨年度までのデジ田の新しいものになりますが、そちらのほうが補助金がつくことに決定しましたので、この6月補正で予算を計上させていただき予定でございます。予算が通りましたらシステムの導入に向けて進めていって年度内にそういったものが整えられるようにしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○松本委員 運転手の確保ですけど、十分採用されている、予定されているのか。

○出射交通政策課長 今現在は、昨年当初から運行しているフォルクスワーゲンの10台のみとなっております。軽四のほうは運転員が全然決まってない状況ですので、運転手確保も引き続き考えていきたいと思っております。

○松本委員 要は募集をしていると思うけど、めどはどんなですか。何かどの業界ももう人手不足ということで特に運転手、どんなでしょうか。

○出射交通政策課長 おっしゃるとおり運転員の確保は市営バスのほうも含めてなかなか難しいところではありますが、条件等も今後見直しも必要になってくるかもしれませんが、確保には努めていきたいと思えます。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

公共交通についての調査研究を終わらせていただきます。

説明員の方は退席していただいて結構です。

***** 行政管理についての調査研究 *****

続きまして、行政管理についての調査研究に入りたいと思います。

1点目で、派遣職員についての調査研究です。

○石原委員 こちらも資料の御提示ありがとうございます。合計で13名の職員の方が派遣で頑張っておられるというところが理解できましたのと、この中で旧来より、備前市として必須の派遣職員、他自治体との連携、県等の連携もございましょうけれども、言わば必須の方はどの方になるのか。

○難波総務課長 必ずしも必須ということではございませんが、旧来からやっていたところといいますと東京事務所は長年続いております。あと後期高齢者広域連合が、共同事務の実施ということで従来から派遣しております。あとは東備消防組合との人事交流も途切れたこともございますが、継続してやっているものとなります。

○石原委員 職員7から10の方々が、10の方は現在東京で研修中ですが、実際に海外へ派遣されているのは7、8、9の方々と。8番、9番の方はそれぞれ3か年の括弧書きで3年間の予定で、そのうちそれぞれ初年度は東京で研修と、実際に海外へ赴かれるのは2年間なのかなど。7番の方はただし書、注釈がついてないけれども、5年度から7年度、この方だけは3年間の派遣ということでしょうか。

○難波総務課長 7番の方につきましては、同様クレアで海外に派遣されるということに当たります1年間国内での研修というのが用意されております。既に研修を受講済みであったものでございますので、5年度、6年度、7年度は海外での活動というか、海外事務所への勤務をしているものです。

○石原委員 本来この方も5年度、6年度の予定でパリへ行かれてたのが1年延長になっておるといってよろしいでしょうか。

○難波総務課長 おっしゃられますとおり、1年延長した経緯がございます。

○石原委員 先ほどもございました海外展開においてはお隣瀬戸内市さんと共同で実施されているようですが、瀬戸内市さんもこういう形でフランスであったりニューヨークであったり職員の方を派遣しとるのでしょうか。そういう実態もし把握されれば結構ですが。

○難波総務課長 申し訳ございません。正式に確認を取ったことはございませんが、現在のところそういった話は聞いてはおりません。

○石原委員 先ほど報告にもございました組織の再編についても取り組んでおられるということで、そういう中でこういった職員の派遣の在り方、しっかりその中でも御検討いただくことを要望でお伝えをさせていただきたいと思います。

○森本委員長 この件に関してほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、派遣職員については終わらせていただきます。

続きまして、特定任期付職員について。

○石原委員 これも一覧を御提示ありがとうございます。これを見ますと、現在はこのとおり9名ということでよろしいですか。当初の提案時点の参考資料では、今年度11名任期付職員で予定する、当初予算書189ページでお見かけしたが。

○難波総務課長 申し訳ございません。当初予算との整合については、確認はしておりませんが、現状特定任期付職員として雇用しております者は9名でございます。

○石原委員 当初提案段階の11名と現状の9名の実情、またの機会にお聞かせいただければと思います。それからこれは現在の任期でそれぞれお示しいただいておりますけれども、短い方で上から6人目の方、1年間、それから長い方でおおむね3年の方が多いいけれども、上から7人目の英語教育の方、この方は5年間お勤めになるのかなということで、おおむね任期はこの方々、1年間から5年間の間で設定がされるということでよろしいでしょうか。

○難波総務課長 ちょっと説明が不足しておりますところがございます。現在の任期ということで書いておりますが、一番上の方につきましては6年度と7年度と任期はそれぞれ分かれております。6年度から雇用していましたので、こういう表記にさせていただいております。それから、御指摘がございました7番目の職員につきましては、4年度、5年度で1度切れております。6、7、8年と3年の形での雇用となっております。最長5年といいますのは、そのとおりの運用で行っております。

○石原委員 もう募集の段階では任期は設定されるでしょうけれども、2年間であったり3年間であったり実態に応じてもろもろですよということでよろしいでしょうか。それから、1年間というのもあるんですか、6番目の方。任期の設定についてお聞かせいただければ。

○難波総務課長 任期の設定についてでございますが、特定任期付職員の採用に当たってはそれぞれそのときに必要な職種でありましたり、スキルでありましたり、期間でありましたり、それぞれ検討しまして要項を作成して募集をしているところです。総体的には、1年にしないとイケないとか、そういったルールはないですが、その時々によって必要性を考えて定めたものとなっております。

○松本委員 この特定任期付というのは、何かの特技が特殊な能力というか、そういう方という意味じゃないんですか。どういう意味ですか。何か意味があるんですか。

○難波総務課長 資料にありますとおり、特定任期付の方にしましては例えば総務部総務課行政係でございますと、法制事務というところで書いてございますが、法曹の有資格者ということで採用しているものです。また、IB教育とか専門性が高い教育につきましては、認定校の実務を担当したことがある実務経験者とか教育に精通した方を採用しております。そういった意味で、特定の技能ないし資格を持たれた方という対象の方の採用となっております。

○松本委員 例えばALTの指導は、もちろん英語が堪能に通訳とまでは言いませんけど、その

道では英語が堪能ということでは理解していいですか。

○難波総務課長 そのとおりでございます。

○石原委員 もう一枚資料、総務課から職員数の推移もお出しいただいておりますけど、これは何か。

○難波総務課長 例年委員会に提出させていただいている資料でございます。7年4月1日の状況がまとまりましたので、御報告させていただいたものとなります。

○森本委員長 この件に関してよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

特定任期付職員については終了させていただきます。

続きまして、職員住宅について。

○石原委員 浦伊部地区において取得まではされておられると思うけれども、職員住宅のその後の進捗、今後についてお聞かせいただければ。

○難波総務課長 職員住宅についてでございますが、令和6年度に予算措置をしまして取得しております。職員住宅を2棟取得しております、その後車庫とか、倉庫とか、構造物でもう古いものにつきまして解体撤去まで終わっております。令和7年度につきましては2棟の改修を計画しておりますが、予算も繰越しをしております。ここまでの状況でございます。

令和7年度につきまして、2棟の改修をすることにはなっております。しかしながら、改修費用について見積もりますと、かなりの増額補正が必要となってくる建物の現状となっております。こうしたことから、職員住宅としての継続的な需要であったり補正予算措置等行いました追加投資に係る事業効果などについてゼロベースで見直していきたいというふうに考えております。

今後につきましては、市長関係部署等含め検討していきたいと思っております。

○石原委員 年度途中でたしか補正予算でこちらに関する予算計上されて、その時点でも強く感じたところですけども、改めて経緯も振り返っていただいて、さっき言われましたけれどもゼロベースでしっかり費用対効果等々鑑みてしっかりと御検討いただくことを、これもお願いします。それから、先ほどおっしゃいました繰り越されてます改修に係る費用はいかほどでしたか。

○難波総務課長 929万9,500円になっております。

○石原委員 古民家含め、それを使えるようにリメイク、リフォームされますと、よくあるのが想定以上に費用がかかって、もうさらを建てたほうがというようなケースを度々耳にします。それも含めて900万円余りでいかほどの改修で使える状態になるのか、さっきも言われました追加もかなりしなければ目的達成できずというところから、さっきの金額も聞いて改めてゼロベースでの御検討、くれぐれもよろしく願いいたしますということを要望で意見としてお伝えさせていただきたいと思っております。

○森本委員長 この件に関して。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、4番目の市役所北休憩所について。

○石原委員 こちらも先ほど職員住宅と同じですけれども、これまでの経緯であったり現状であったり今後についてお聞かせいただければ。

○西村契約管財課長 市役所北休憩所につきまして現在の進捗状況であります。昨年度に整備事業のための用地と建物を購入いたしまして、その後にその用地に建つ建物について公共施設として安全に利用が可能であるかを判断するために耐震診断を実施しました。診断結果としましては、評点が0.1と診断され倒壊する可能性が高いとの結果でありました。この結果を受けまして、今後の方針を市長と協議の上、決定していきたいと考えております。

なお、方針が決定しましたら改めて御報告させていただきたいと思っております。

○石原委員 前市長のときの事業ですのもう今さらですけれども、提案に至る経緯もしっかり行政としても再確認、振り返っていただいて、さっき診断の結果、倒壊の危険性というところでもう恐ろしいワードも出てきましたので、いま一度土地並びに財産の取得について原点に立ち返っていただいて必要性のところからしっかりと見極めた行政運営、ここについてもゼロベースの見直しといたしますか、もう取得はしているわけでしょうから、今後についてもしっかりと歩を進めていただきたいということを要望でお伝えさせていただきたいと思っております。

○森本委員長 この件に関してほかの方でよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、総務関係についての調査研究を終わります。

説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

午前10時23分 休憩

午前10時34分 再開

○森本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

まずは、報告事項からお願いいたします。

***** 報告事項 *****

○井上都市計画課長 都市計画課から学びと遊びの健康プラザ工事中の被害について御報告させていただきます。

旧アルファビゼン第2期改修工事中の今年2月13日午前9時に現場代理人が電線盗難被害を発見しました。被害の内容は、1、2階に保管してあった新品電線約30巻き分と1階に配線済みの電線を切断し約30メートルが盗まれました。同日、備前警察署へ被害届を提出し現場検証を受けています。

続いて、3月4日早朝に再度盗難に入ったところを張り込み中の警官が現行犯逮捕しました。このときの被害は1、2階の電線の残材と3、4階の配線済みの電線を切断し約35メートルが盗まれました。このときは、警察の現場検証後に盗難物は返却されています。

これまで警察で捜査中のため非公表としておりましたが、4月中旬に警察が起訴したため、このたびの委員会で報告させていただくこととなりました。

○尾川委員 もう少し踏み込んで説明してもらえたらと思う。

○井上都市計画課長 被害額とか。

○尾川委員 被害額と、犯人逮捕でその前の盗難との関連は、その辺まだ分かってないのか。今はやっとするけど、太陽光の関係で。そういう関係かなと思う、犯人のことについて、言えるかどうか分からないけど、何か因縁というか、怨念というか、一遍あって、何か嫌らしいなど思っています。ある程度具体的に話して。

○井上都市計画課長 今こちらが把握してる内容といたしましては、この学びと遊びの健康プラザの中での盗難事件が発生したというのが1つあります。その先ほどのちょっと説明の中で金額のほうについて御説明できてなかったんですが、一応2月13日の被害額が308万円、3月4日の被害額が40万7,000円になります。こちらの被害額についてなんですけど、いずれにつきましても施工者のほうが工事保険に入っているため市のほうの損害はございません。

○尾川委員 報告事項に戻って、健康プラザのことで工事の遅延、かなり遅れているけど、盗難で遅れるということは、損害は市にはないけど、業者が大変と思うけど、そのあたりはどんな感じですか。遅延というのは大分遅れてきとると。

○井上都市計画課長 盗難されたことによりまして、新しく電線を買ったりとか配線のし直し、そういった手間は生じておりますが、先ほど申しました7月末の完成を目指しまして工程等やりくりしながら進めておりますので、7月末の完成を目指してこちらの現場管理する職員もよく現場と調整しながら早期完成に向けて進めております。

○尾川委員 美術館もやったり今度図書館もやったりしているけど、そのあたりこういう問題は市としたら警察に頼むと言えはあれだけど、今回の場合、損害は業者がというか、建設会社が負担するような、そのあたり何か備前市としての対策というか、予防措置というか、そのあたりの考えはどういうふうに理解したらいいわけ。

○井上都市計画課長 先ほどの説明の中でちょっと漏れておりましたが、対策につきましては被害後防犯カメラの増設でありますとか、センターライトの設置、鍵のかかる資材保管物置の設置等を行って対応しております。

○尾川委員 アルファビゼンがもう電線泥棒といういろいろな問題になったのを覚えとるけど、何か因縁があるのかなと思うし、そんなことについての問題というのはないのかな、何か恨みがあるような感じがあたりする気がするけど、防犯カメラを増やしたりして警備体制をするというぐらいの対策になっとるわけ。

○井上都市計画課長 今回の盗難対策というのは、あくまで今現在第2期改修工事を請け負っている現場の中での対応ということで認識していただければよろしいかと思います。

○梶藤産業建設部長 以前の電線の盗難の関係を今委員の方も言われたんですけど、それとは関

係ないということで、警察からも伺ってるということではないですけど、関係ないと判断しております。あと今回捕まった犯人というのが県下全域、特に南でいろいろやっつけられた方ということで、備前市だけを目指してきてないというふうには伺っております。

○石原委員 お答えいただけるなら、その悪事を働いた犯人はどうやって侵入し、鍵を壊して入ったのか、何か鍵のかかる倉庫とかなんとか言われたけど、そもそもその2月何日に発生した案件なのか、どうやってああいう工事現場へ今回のケースでは。

○井上都市計画課長 出入口の鍵をもう完全に切断して侵入したということのお話を聞いております。

○梶藤産業建設部長 一応工事現場なので、そんなに嚴重にすごいドアでロックとかではなしに、例えばアコーディオン系の入り口とか、そういうのをチェーンとかで閉めるとか、そういうものなので、それを壊そうと思ったら、そういう方が来たらどうやってでも壊れると言うたら壊れるし、仮囲いにつきましても壊そうと思ったら壊せますし、なかなかそこで嚴重には難しいですけど、課長も言いましたが防犯カメラとかを設置しているのを明示するとか、そういうことでの対策を今後していく必要があるかなと思います。

○森本委員長 この件に関してほかの方で、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次の報告をお願いします。

変更契約に係る専決処分について。

○井上都市計画課長 都市計画課から変更契約に係る専決処分について御報告いたします。

旧アルファビゼン跡地活用事業及び備前焼ミュージアム整備事業につきましては、事故繰越処分を行い専決による工期延期の変更契約を行っております。詳細につきましては、次回議会で御報告させていただく予定でありますので、よろしく願いいたします。

○森本委員長 この件に関して質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、終わらせていただきます。

続きまして、建設課からの報告で変更契約に係る専決処分について。

○岡村建設課長 建設課より専決処分について御報告いたします。

三石地内で施工しています残土処分場調整池整備工事につきましては、事故繰越処分を行い専決による変更契約を行っております。同じく詳細につきましては、次回議会で報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

○石原委員 さっきの件もですけど、御報告なので、専決で次の議会でということですけど、ここでどういった変更内容、工期変更、さっきも言われたけど、どれぐらいのどういった変更かというようなところ。

○井上都市計画課長 都市計画課から報告いたしました2件の工期延期の内容についてですが、

アルファビゼンの活用事業につきましては7月末の工期延期となっております。備前焼ミュージアムの事業につきましては、5月末までの工期延期となっております。

○岡村建設課長 建設課の残土処分場につきましても、工期延期を行っております。工期につきましては、令和7年9月30日に変更しております。

○森本委員長 この報告に関してよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、報告事項のほう終わらせていただきます。

続きまして、閉会中の継続調査事件に関する調査研究を行います。

***** 移住・定住についての調査研究 *****

まずは、移住・定住についての調査研究を行います。

お試し住宅について。

○石原委員 浦伊部地内で取得までされた旨の御報告はあったと思うけれども、経緯であったり現状であったり今後についての御見解を御説明いただければと。

○井上都市計画課長 都市計画課といたしましては、昨年度お試し住宅を改修するという事で予算をいただいております。繰越予算につきましては、今年度中の利用開始に向け台所とかお風呂等の水回り工事をする予定で予算計上しておりました。しかしながら、改修工事のために事前作業として屋内の家財道具などを撤去しましたところ、居室の座板などがかなりの箇所で腐食が確認されました。この状況を改善していくとなると、繰越予算だけでは対応できないことが判明いたしました。このことから、ゼロベースでの再検討は必要であると認識し、今後の方向性について慎重に検討してまいりたいと思っております。

○石原委員 現時点で先ほどの職員住宅も同じですけれども、それから北休憩所も同じですが、ゼロベースの検討ということで、これも何が何でも必要ではないかなど、再検討も必要ではないかと。それから、もう片づけまではされて住宅の中の、床であったりあらゆるところが傷みが激しいようですけれども、さっき言われた繰越された改修に係る予算はいかほどでしたか。

○井上都市計画課長 繰越予算としましては、工事費で500万円計上しております。

○石原委員 先ほどと同じ話になるけれども、いま一度振り返りもしていただいてこういった事業どうあるべきかというのをしっかり行政として御確認をいただきたい。お試し住宅であればここゼロベースで検討ということなので、いま一度その立地であったり何が何でもその建屋を取得してというのが果たしてどうなのか、お試し住宅についても御検討もいただきたいと思えます。現状ではお試し住宅は市内どちらにございましたでしょうか。

○井上都市計画課長 現状稼働しているお試し住宅としては1か所、吉永地区にございます。

○石原委員 吉永地区のお試し住宅の利用状況がお分かりであれば、令和6年度であったりお聞かせいただければ。

○井上都市計画課長 令和6年度実績といたしましては、利用者数が13名、利用期間延べ数で

213日となっております。

○森本委員長 ほかの方でこの件に関してよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に移らせていただきます。

***** 都市計画についての調査研究 *****

都市計画についての調査研究です。

J R西片上駅舎改修工事について。

○尾川委員 進捗状況について説明していただきたいけど、何か工事が遅れていると、そういう懸念を心配する人もおありまして、お聞きしたい。

○井上都市計画課長 西片上駅の進捗状況について御説明いたします。

昨年度末に、本駅舎改修工事期間中に利用する仮駅舎が完成いたしました。今年度、本駅舎改修工事につきまして令和7年5月1日付で西日本旅客鉄道株式会社と工事の協定書を締結いたしました。協定内容といたしましては、協定額5,992万2,000円、工事着手の時期といたしましては本年4月頃から着手し今年度中に完成する予定であります。協定書に基づくJ Rの工事の範囲につきましては、駅舎改修工事として屋根及びホーム側に近接する外構工事、支障移転工事につきましてはI C O C A、券売機等がJ Rの施工となります。市の工事範囲につきましては、駅舎内の待合所、トイレなどについては別途工事発注予定としております。早期完成に向けて、関係機関と協力しながら順次進めてまいりたいと思っております。

○尾川委員 J Rとの交渉というか、話し合いは順調にいったんですか。それで結構時間がかかっているような気がしたりするので、そのことは特に見られるん。

○井上都市計画課長 J Rとの協議につきましては、昨年度J R委託しておる業務の中に併せまして工事区域でありますとか、市がする施工部分、J Rが施工する部分等について詳細な詰めをやっておりました。昨年度中におおむね双方の合意ができておりましたので、予算が確保できました本年4月中におおむね双方合意という形が取られましたので5月1日付で協定書の締結ができたというのが現状でございます。

○尾川委員 最初の工事としたらI C O C Aとかああいうのを移動させてから工事に入ること、その工事はどっちが、J Rがやってくれるわけ。

○井上都市計画課長 I C O C Aとか券売機とか、そういった通信施設に関することはJ Rの施工区分になります。

○尾川委員 繰り返すけど、それを一応移動させて初めて駅舎の工事に入っていくという手順になるわけ。

○井上都市計画課長 工事の順番としましては委員御指摘のとおりI C O C Aとか券売機、そういったものは仮駅舎のほうに一旦動かします。動かした後に、本駅舎の仮囲いとか、そういったような仮設物を行いまして改修工事に入るといった流れになるかと思っております。

○尾川委員 繰り返すけど、同時並行みたいな形の工事着工というのはなしに、やっぱり I C O C A 関係のものが完全に設置されてから後に動くというふうになるわけ、同時並行というか、ある程度並行して作業するということはできないということになるわけ。

○井上都市計画課長 ちょっと詳細が J R さんとの今後の工事の計画については 5 月 1 日に協定を交わしまして、これから詰めてまいりたいと思いますので、もうしばらく細かい工事方法についてはまだ言いにくい状況になりますので。

○尾川委員 要はずるずるいきょんじゃねえかということで心配してくるから、その辺応えていかないといけないと思ってしつこく聞いているけど、そんなことで工事が遅れているのではないかと、止まっているのではないかとといううがった見方をするので、こっちも一々それに対して説明していかないといけないので、また適宜情報提供してほしいと思う。

○井上都市計画課長 仮駅舎ができて、やはり 1 か月たつてるといふものを見られたときに、ちょっと工事が遅れているんじゃないかという見方をされる市民の方もおられますので、遅れることないように J R と協力しながら早期完成に向けて工事のほう進めていきたいと思っております。

○尾川委員 早く言えば止まってしまうのではないかと心配して言ってくる、何もかにも。それは違うよと話はしているけど、その辺があるので、できるだけ速やかにお願いしたいと思う。

○石原委員 J R 分と備前市側が行う工事、通信系であったり I C O C A に関することは J R と言うところで、その工事費用は備前市が全て出すわけですね。さっきのだけ聞いたら J R さん、そういうところだけは手当てしてくださるのかなという捉えで聞いてしまうところですけど、全てもう備前市が負担ということで。それから、備前市分の改修を受け持たれる業者選定、業者決定については、J R 側が指定した業者になるのか。

○井上都市計画課長 市の発注する工事で業者がどちらになるかというのは、今後指名委員会等に諮っていかないといけないですが、近接工事、当然そういうことになりますので、そういった諸条件をクリアしないとなかなか入っていくことは厳しいと思います。

○石原委員 工事の費用、予算は 1 億円でしたか、もろもろ合わせて 1 億円でよろしかったでしょうか。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

駅舎の改修についてはこれで終わらせていただきます。

***** 道路、橋梁及び河川等についての調査研究 *****

続きまして、道路、橋梁及び河川等についての調査研究に入らせていただきます。

道の駅について。

○石原委員 前市長のとき、つい最近まで伊部小学校、備前中学校方面移転の後、その跡地を道の駅という構想もお聞きした覚えがある。こちら小学校に関することで教育委員会に関係します

けれども、こちらゼロベースでの検討ということによろしいでしょうか、現時点で。

○岡村建設課長 伊部小につきましては、一応可能性、小学校が移転した場合の跡地利用の一つの方法として道の駅ということで検討も行った経緯がございますが、ここで市長も替わりまして方向性について道の駅、改めてその協議も必要と考えております。ということで、委員御指摘のゼロベースといたしますか、一応その場所についての必要性とか、そういうのも御協議してまいりたいと考えております。

○石原委員 先ほどまでのお試し住宅であったり住宅系の事業については、もう予算も可決されて土地取得まで終わった事業です。こちらはまだあくまで構想段階、検討段階ということだったでしょうから、何をもってゼロベースかというところもあるけれども、そもそも道の駅は、駐車場スペースについては、国からの補助金も充てられるとお聞きしておりましたけれども、そもそも言いますと伊部小学校の校庭、運動場あたりをもし仮に道の駅とする場合には対象にならない面積、あれだと狭過ぎるという、ちらっとお聞きしたことがある。道の駅、国の補助をいただくためには面積的にはどれぐらい駐車場部分が必要なのかな。もし分かれば参考までに。

○岡村建設課長 伊部小の検討の中で、その全体の敷地面積に対して当然必要な大型、小型の車両台数というのが正式な道の駅としては出てくるんですけども、一応試算上では大型車が不足しているということで、なかなか国の補助を充てた正式な道の駅に対して敷地面積が足りてないというような一応結果が出ております。

○石原委員 またの機会が結構ですので、道の駅の規定といたしますか、基準となるような面積であったり設備であったり施設であったり補助対象のところであったりというところをお教えいただければと思いますので、よろしくお願ひします。

○森本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で産業関係についての調査研究を終わります。

***** 委員派遣について *****

次に、委員派遣についてのお話をさせていただきます。

1点目は、備前市美術館への委員派遣です。

現在整備が進められております備前市美術館への委員派遣についてお諮りいたします。

本日の委員会閉会后、当該施設へ全委員を派遣したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定し、議長に対し委員派遣要求を行います。

続きまして、行政視察の委員派遣についてです。

閉会中の継続調査事件の調査を行うため、議長に対し委員派遣の要求を行いたいと思います。

派遣委員については全委員を対象とし、実施日については令和7年7月8日から9日まで、派

遣先については栃木県足利市と群馬県前橋市、調査事項については足利市は文化観光についての調査研究、足利学校です。前橋市は都市計画についての調査研究で、アーバンデザイン推進事業と考えております。

それでは、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

委員派遣に関する手続につきましては、先ほど御案内したことに変更等があった場合も含め委員長に御一任いただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

なお、視察先への御依頼の都合上、質問事項につきましては5月23日臨時会までに委員長までにお知らせください。

以上で総務産業委員会を閉会いたします。

午前11時05分 閉会